

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(5/14)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区 (見附市等)	正	3.8	3.9 進捗度 総合評価指標としての「健幸度」の開発 110% 地域住民のヘルスリテラシー 99% 介護認定率の増加率の抑制 119% 等	3.7 規制の特例等 ライジングボラード(自動昇降式車止)による車両通行制限 等 財政支援等 歩いて暮らせるまちへの再構成 等 地域独自の取組 健康運動事業への財政措置等	3.8	<p>・全体として事業は着実に進捗しており、その進捗管理も優れている。</p> <p>・住民個人に対する働きかけと環境整備が非常にバランス良く行われており、またデータ整備が十分に行われていることで、短期的な評価にとどまらず、異なる保険者を通じたレセプトデータの収集など長期的な評価を可能とするためのインフラ構築まで行っていることは高く評価できる。</p> <p>・取組は評価できるが、健康指標への影響は数年で評価することは困難である。また、異なる健康関連指標に対し同じ改善目標を立てたり、取組内容と効果の関係性が不明確であったりと、評価指標の適切性に問題がある。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)